

2014 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 2 月 17 日作成)

小委員会名	建築学会環境基準作成小委員会	
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (企画刊行運営委員会)	主 査 名：佐土原 聡 就任年月：2013 年 4 月 委員長名：田辺 新一 主 査 名：佐土原 聡
設 置 期 間	2005 年 4 月 ～ 2015 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築および都市の環境工学に関するさまざまな性能項目、性能基準（規準）、検証方法の学会としての基本姿勢を実務家や団体、行政に対して明示する。 ・ 新しい学術的成果を取り纏め、建築学会環境規準として示す 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：佐土原聡（横浜国立大学） 幹事：飯塚悟（名古屋大学）、田中貴宏（広島大学） 委員：鍵直樹（東京工業大学）、坂上恭助（明治大学）、田辺新一（早稲田大学）、 田端淳（大成建設）、都築和代（産業技術総合研究所）、平松友孝（音・環境研究所）	
設置 WG (WG 名：目的)		
2014 年度予算	400,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s8/

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1. AIJES 「サーマルマネキンを用いた室内温熱環境評価法規準・同解説」
講習会	1. 講習会「サーマルマネキンを用いた室内温熱環境評価法規準」 参加者数 86 名
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	1. 「サーマルマネキンを用いた室内温熱環境評価法規準作成に向けてのシンポジウム」 参加者数 51 名 2. 第 2 回次世代排水システムシンポジウム 『『機械・サイホン排水システム設計ガイドライン (AIJES)』刊行に向けて』 参加者数 68 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. 「サーマルマネキンを用いた室内温熱環境評価法規準」パブリックコメント
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. AIJES 刊行 1 件 (計画 3 件) 2. AIJES 作成着手 1 件
委員会活動の問題点 ・ 課題	1. 一部の AIJES 刊行に遅れが生じている。

2014 年度 小委員会活動 自己評価

(最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> A B C D </div>
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>一部の AIJES 刊行に遅れが生じているものの、毎年コンスタントに「建築学会環境基準 (AIJES)」を刊行しており、当初の目的は概ね達成していると判断し、A 判定とした。また、AIJES の更なる改善を目的とし、総則の見直しを行った点も、新たな学会活動成果発信の形態につながるものとする。</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。